

札幌市持続可能な学校給食提供の在り方検討会議 第2回会議

北広島市防災食育センター視察結果概要

1 実施概要

(1) 実施日時

- 令和7年7月14日（月）10時～12時

(2) 参加者

- 札幌市持続可能な学校給食提供の在り方検討会議委員：9名
- 事務局等市関係者：8名

(3) 実施内容

時刻	次第	内容						
10:00	1. 開会							
10:05	2. 施設見学	<ul style="list-style-type: none"> 施設紹介動画（食育施設編）の視聴 施設見学 <table border="0"> <tr> <td>1階</td> <td>廊下展示パネル等</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>調理風景、防災備蓄食料、食育用展示等</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>支援物資搬入口、非常用自家発電機、ヘリポート等</td> </tr> </table> 施設紹介動画（防災施設編）の視聴 	1階	廊下展示パネル等	2階	調理風景、防災備蓄食料、食育用展示等	屋外	支援物資搬入口、非常用自家発電機、ヘリポート等
1階	廊下展示パネル等							
2階	調理風景、防災備蓄食料、食育用展示等							
屋外	支援物資搬入口、非常用自家発電機、ヘリポート等							
11:05	3. 質疑応答							
11:20	4. 試食	給食の試食						
11:50	5. 事務連絡等							
12:00	6. 閉会							

2 北広島市防災食育センターの概要

項目	内容
施設名称	北広島市防災食育センター（学校給食センター）
所在地	北広島市大曲2番地1
延床面積	3,800 m ²
構造	鉄骨造・地上2階建て
開設年月日	令和6年5月31日 竣工、同年6月 開設
給食配送先	小学校8校、特別支援学校1校
調理能力	3,000食/日 ※R7.5.1現在の調理食数は約2,900食/日
調理内容	主食（米）の炊飯及び副食の調理 ※パン、麺は学校給食会に委託
その他特徴	<ul style="list-style-type: none"> ドライシステムを採用し、調理場内を非汚染区域、汚染区域、その他管理エリアで床を色分けし、衛生管理の徹底を図っている。 アレルギー専用調理室を設けており、食物アレルギー対応食を最大50食提供可能。 2階には1階の調理作業を見学できる防災食育ホールを整備。階段状の見学席も設置し、座席下スペースには物資などを備蓄。 災害時に避難生活者8,000人へ、1日1食3日間の炊き出しを行うため、米2,400kgと汁物用乾燥野菜や顆粒みそなど24,000食分を備蓄。 停電時に備え、自家発電機を整備し、72時間稼働可能な燃料を備蓄。 学校給食及び災害時の炊き出しに使用可能な、1時間当たり4,800個（2台稼働時）のおにぎりを製造する成形機・包装機を整備。

3 視察の様子



4 質疑応答の概要

- 下記のような質疑応答があった（一部抜粋して掲載）。

委員	こちらの施設で給食を調理するにあたり、現在の食数に加えて、更に何人分程度の調理が可能でしょうか。
北広島市	本施設の調理能力は、最大で学校給食 3,000 食として設計しており、日常的に 2,800 食～2,900 食を調理するなかで、大きな余裕はない状況です。

委員	市内小学校 8 校と特別支援学校 1 校を対象に、5 台のトラックで配送されているということですが、配送距離、時間、トラックの振り分けなどを教えていただけますか。
北広島市	一番距離の長いルートで、2 校回って 20km 弱程度で、コンテナを降ろす時間を含めて 30 分程度かかっています。1 号車は出発時刻が 10 時 50 分で、11 時 20 分頃に配送が完了します。 トラック 1 台で最大 2 校に配送しています。 なお、配送ルートについては、様々なルートで実際にトラックを走らせたうえで、その中で一番効率的なルートを選択しています。
委員	食器類を先に配送し、食缶（給食）は後から運んでいますか。
北広島市	食器・食缶を一緒に配送しています。

委員	本施設の完成は昨年度ということですが、用地買収に相当年月がかかったのではないかと思います。完成までにどの程度の期間かかりましたか。
北広島市	平成 30 年あたりからの検討なので、用地買収から完成までに 5 年半程度かかりました。本施設の用地は元々農地であり、所有者が離農するという話から、比較的スムーズに用地買収ができたと思います。

委員	以前の学校給食センターから、現在の施設に場所が変わったことで、食材納入の関係では、例えば、搬入時間が早くなった、トラックの配車に影響があったなど、納入業者への影響はありましたか。
北広島市	以前のセンターと同じ時間での納品にご理解いただいております、移転したので時間が厳しい等の声は聞いておりません。大きなトラブルはありません。

委員	2,800食の調理を20人程の職員で対応されているということですが、業務形態についてはどのような形でしょうか。
北広島市	全員の入れ替わりはないですが、調理員と洗浄員で勤務時間帯が替わるなど、シフト制の中で人が入れ替わっており、全員が同じ勤務時間とはなっていません。 1日あたり延べ30人程度で調理・洗浄を行っており、麺やパンの日は炊飯作業が不要になるので、その人手が必要ない日は、数名減ります。献立によっても変わります。

委員	1か所の調理場のみの小学校の給食（給食センター）と、複数の調理場を管理する中学校の給食とで、評価の違いなどはありますか。
北広島市	施設ごとのメリット・デメリット等はあると思いますが、中学校の調理場も施設が古くなっており、改修の費用や労力もかかってくるので、実際のところ、集中させて調理する方が、維持管理を行いやすい面があります。

委員	給食室と防災センター両方の役割があるというのは非常に理に適っている施設であると思いましたが、実際に1年間運用されてみて、働く前後での違いや、気づいたことがあれば率直に伺いたいです。
北広島市	防災に関して、自衛隊と連携をして支援物資の搬入訓練をするなど、自治体職員側の業務量は、以前のセンターより増えました。 また、施設見学の依頼も非常に多く、旧学校給食センターは給食に特化しているだけでしたが、今はこのように視察に来ていただいております、我々の業務上では、啓発という部分での役割も大きいと思います。 来られた方々は、新たな学びを得て帰ってくださる方が多いので、今までとは違う役割を果たしていると感じており、地元の町内会の方や小中学生なども来られて、食育の取組にもつながっていると思います。